

# kanamoto ■ カナモトエグザミナー examiner

株主の皆様ならびに投資家の皆様へ



第42期中間事業報告号

vol.36 contents

News Headline	2
新設拠点・新設部門のご紹介 ほか	
Lineup	4
取扱商品のご紹介	
Financial Highlights	5
財務ハイライト	
Semiannual Report 2006	6
第42期中間事業報告書	
Shareholder's Q & A	14
株主様からの質問に答えるQ & Aコーナー	
Investor Information	15
株式情報	



## 札幌法務局、練馬区光が丘警察署と災害時レンタル協定を締結しました

2006年3月、札幌法務局、練馬区光が丘警察署と「災害時におけるレンタル機器の提供に関する協定」をそれぞれ締結いたしました。この協定は、災害などの緊急時に当社が保有する暖房器具類や、仮設トイレ、発電機などのほか、道路の確保や復旧・復興に必要な機器類を行政機関に優先的にレンタルするというものです。現在の地方自治体の縮小した予算ではすべての機器を

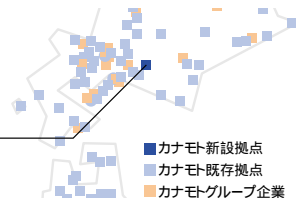
整備する余力はなく、また、保有したとしても維持管理コストが無駄となります。当社のように事業として機器を運用する第三者と協定し、緊急時に対応できる体制を構築することにより、予算、リスクなど全ての面において負担軽減につながります。

当社では社内の緊急支援体制を整備するとともに、今後とも各方面で積極的に協力体制を構築してまいります。kca

## 新設拠点・新設部門のご紹介



**占冠出張所**  
北海道勇払郡占冠村字占冠1721番地  
TEL:0167-56-2820  
FAX:0167-56-2830



**三条営業所**  
新潟県三条市大字福島新田丁649番地1  
TEL:0256-45-7788  
FAX:0256-45-6678

**広域特需営業部**  
東京都港区芝大門  
1-7-7浜松町Kビル  
TEL:03-5408-7466  
FAX:03-3438-4455  
**東京事務センター**  
所在地は同上  
TEL:03-5408-5702  
FAX:03-3438-0998

2006年、第3四半期に入った5月に、三条営業所(新潟県三条市)と占冠出張所(北海道占冠村)を開設いたしました。前者は豪雨災害などの復旧工事に、そして後者は夕張 清水間の高規格道路建設に、それぞれ対応するものです。

さらに、営業力強化を目的に、広域特需営業部を新設いたしました。広域展開されている顧客を従前の地域密着型営業とリンクして営業展開するほか、特に首都圏で需要が見込まれる地盤改良や大深度地下工事に対応する特殊なノウハウ・建機を担当する部門です。また、業務の効率化のため、東京事務センターを開設し、関東エリアの請求業務一元化を図ります。ともに既存拠点をバックアップする強力な部隊です。新しいカナモトの展開が始まっています。kca

## “見て・触れて・体験”できるサクスフェア2006

39期から始まった中古建機などの販売キャンペーンも、おかげさまで4年目を迎えることができました。今年はい頃のご愛顧へ感謝の気持ちを込めて『カナモトサクスフェア2006』と銘打ち、函館営業所を皮切りに各地で開催されました。人気の中古ユニットハウスや中古建機はもとより、協賛各社ブースの商品も人気をよび、開催早々完売御礼の商品もでるなど大盛況でした。イベントとして行われた高所作業車の無料試乗体験やミニ油圧ショベルを使ったボールすくいなどは皆様に大盛況で、順番待ちの列ができるほど。今期(2006年10月期)

の感謝祭は、残すところ秋に開催予定の盛岡会場のみとなりました。ぜひ会場で“見て・触れて・体験”して、生の『カナモト』を秋の収穫の一つにしていいただければと思います。開催日など詳細は、当社HPをご覧ください。kca




実際の建機を使って上手にできるかな?

## 機関投資家向け中間決算説明会を開催いたしました

6月13日、東京証券取引所1階の東証アローズで、当社の中間決算説明会を開催いたしました。

業績については、取締役執行役員経理部長の卯辰伸人から、また、現在進行中の長期経営計画メタモルフオーゼの進捗状況と今後の展望につきましては取締役執行役員経営企画部長の成田仁志から、それぞれ説明させていただきました。その模様は、当社IRサイト<http://www.kanamoto.ne.jp>にアーカイブを掲載しておりますので、是非ご覧ください。

なお、中間決算の詳細については後段の中間事業報告書記載のとおりであります。

説明会後の質疑応答では、レンタル単価の現況のほか、当中間期の大幅な増益の理由についてなど多岐に渡る質問を賜りました。 



長期経営計画の進捗状況を説明する経営企画部長・成田仁志


## CONET2006の出展内容についてご紹介いたします



屋外展示で実演する新型橋梁点検車

環境・防災・安全をテーマにした建設機械・建設工法を紹介する一大イベント、CONET2006（7月13日～16日まで。会場：幕張メッセ）に、当社が出展するのは小誌前号で既報のとおりで

す。屋内・屋外の両会場に出展している当社のブースも含め、CONETは大盛況を迎えているはず。

屋内ブースでは、小誌4ページに掲載した電気自動車「コムス」などの展示のほか、アスベスト対策機器による粉塵除去の実演を行います。一方、屋外では、当社とコンサルタント会社の2社が北海道産業クラスター形成推進事業で共同開発した新型橋梁点検車によるデモンストレーションを実施。ブーム先端に搭載した高性能デジタルカメラで橋の損傷状態を撮影・記録し、実際に作業する際は記録した損傷箇所に自動でブームをセットできるという同機の最大のメリットをご紹介します。小誌を遠方でご覧になっている株主様など、当日ご来場できない皆様にも当社HPなどを通してイベントの様子をお伝えいたしますので、どうぞご期待ください。 


## 日経IRフェア、JAI資産運用フォーラムに出展

CONET2006に続き、例年同様暑くなるといわれている今夏をさらに“熱く”するイベント展開をカナモトは準備しています。7月20日(金)・21日(土)には、東京ビッグサイトで開催される「日経IRフェア2006夏」に出展。2日目の21日(土)にはブース展示だけでなく、特設会場で会社説明会も実施します。

また、同じく21日(土)には、虎ノ門パストラルで開催される、おなじみの日本個人投資家協会の「JAI資産運用フォーラム 第23回大会」にもブースを設置します。

両会場では、当社の中間決算と今後の事業展開などに

ついて最新情報をご提供する計画です。

普段、なかなかお会いすることのできない皆様にも、少しでも“カナモト”をお伝えできるよう、スタッフ一同頑張っておりますので、ぜひご来場ください。 



昨年12月のノムラ資産管理フェアの様子

日経IRフェア : <http://ir.adnet.jp/index.html>

JAI資産運用フォーラム : <http://www.jaii.org/news/ktakai.htm>



## 花火大会に協賛します

夏の風物詩といえば花火大会、ですね。夜空に浮かび上がる大輪の花々と、あたりに響き渡る爆音に、夏の暑さもすっかり忘れてしまいます。

札幌で花火大会といえますと、7月の金曜日に3週連続で開催されるのが慣わしで、この時期になると、札幌っ子は皆どこかそわそわした様子で週末を迎えます。

今年も7月14日金曜日の道新・UHB花火大会を皮切り

に、21日の読売花火大会、28日の朝日新聞・HTB花火大会と、北の短い夏を大いに盛り上げてくれる3大会が開催される予定です。

当社も花火協賛のほか、仮設トイレや帰り道を照らす照明機器などでお手伝いしております。ご来場の折には「鍵屋」、「玉屋」のお掛け声もさることながら「厠！」もお忘れなく。失敬。kca

### Lineup 取扱商品のご紹介

今回の取扱い商品紹介コーナーでは、経済的かつ環境に優しい超小型電気自動車「コムス」と、1台で2役をこなすスライド式ダンプ「ローダーダンプ」をご紹介します。

#### 電気自動車コムス

環境と経済性の2つのECOをコンセプトに開発された、超小型電気自動車「コムス」。広く皆様に知られており、電気を動力源とするので走行時にCO<sub>2</sub>を排出しない、環境にとっても優しい車両です。

ナンバープレートを取得すれば公道も走行できるので、ピザや牛乳配達などのデリバリーサービスにも採用されています。当社のお客様は、広い建設現場や工場・プラント内の巡回などにご利用いただいています。

100Vの家庭用電源で充電でき、いわゆる燃費も1Kmあたりたったの2円と経済的ですから、お買い物の足としても有効ですね。

小型ながら頼もしいエコカーとして、注目を集めるピークルです。kca

\*公道を走らせるには普通免許が必要です。また、ミニカー登録が必要になります。



#### ローダーダンプ



新明和工業のスライド式ダンプ『ローダーダンプ』は、建機を運ぶ機能と砂利等の資材を運ぶダンプ機能を集約した「1台で2役」の優れモノです。

建機の積込みの際には、ボタン1つで荷台部分がスライドして全体が緩やかな勾配になるので、建機をスムーズに積載できます。つまり、建材の搬入搬出の作業効率も大幅に向上します。もちろん、ダンプカーとしての機能もきわめて優秀な一台です。さすがダンプ等の特装車業界トップを走る新明和工業さんならではの製品ですね。

ところで、前述の「ダンプ」という単語の語源はご存知でしょうか？ ダンプとは英語で「どさっと捨てる」という意味があるそうで、荷台を傾けて土砂などを降ろすところからダンプカーと名前が付いたそうです。kca

## 第42期(2006年10月期)中間決算財務ハイライト(当社グループ連結決算)

### 情報通信関連・その他の事業 219百万円



レンタル料金の低廉化によりレンタルが不調だったものの、商品販売での中古機販売が好調に推移し、部門全体では対前年同期比2.0%の増収となりました。

### 鉄鋼製品販売事業 3,058百万円

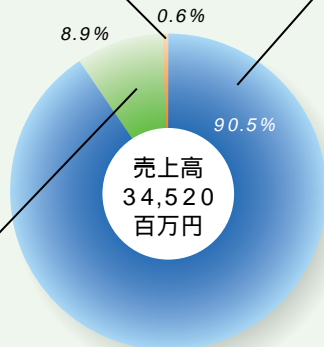
新商材をはじめ取扱高も順調に推移しましたが、普通鋼材の販売価格が急落したことから、売上高は対前年同期比0.1%減、営業利益も同47.0%減となりました。



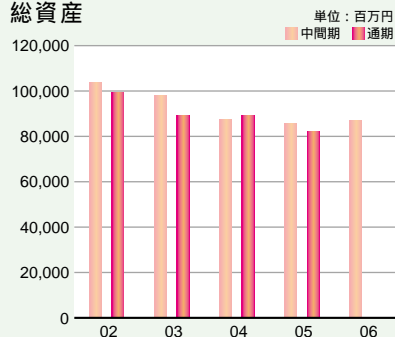
### 建設関連事業 31,241百万円



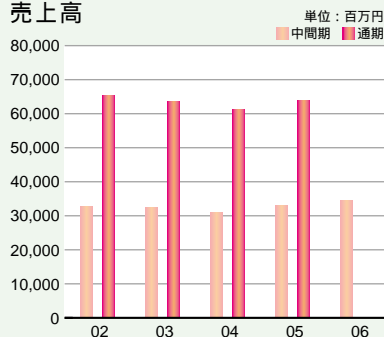
引き続き好調な首都圏に加え、地方における民間設備投資や大規模プロジェクト、災害復旧工事など各地の需要を取り込めたことから、売上高は前年同期比4.7%の増収となりました。



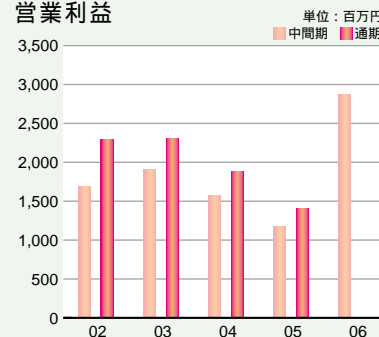
### 総資産



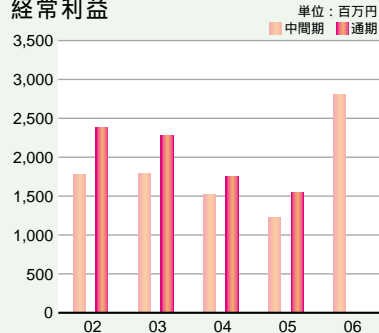
### 売上高



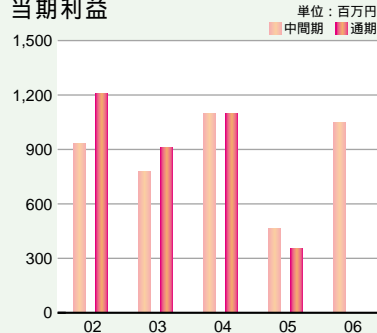
### 営業利益



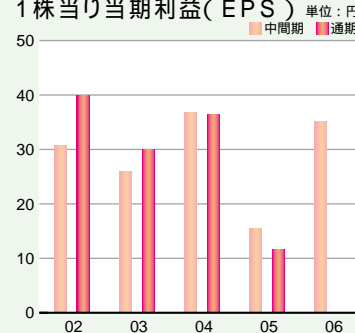
### 経常利益



### 当期利益



### 1株当り当期利益(EPS)



## 第42期中間事業報告書 [2005(平成17)年11月1日から2006(平成18)年4月30日まで]

### [経営成績]

#### 当連結会計期間の概況

当期の日本経済は、主要金融機関を筆頭に、外需が好調の鉄鋼、機械などの製造業や海運など輸出関連産業のほか、不動産や広告、情報サービスなど国内需要を糧にする業種についても業績が回復、景気は好景気局面を迎えつつあります。

しかしながら、この基調も首都圏を中心としたもので、地方は相変わらず厳しい経済環境にあり、個人消費も格差が拡大しており、すべての面で二極化が進みました。当社グループのユーザーである建設業界でも同様で、首都圏では堅調な民需に潤いましたが、地方では官民ともに建設設備投資の減退が続き、厳しい環境にありました。

#### 建設関連事業

当社グループ全体の建設関連事業における当中間期の業績は、厳しい事業環境のなか、売上高は312億41百万円(対前年同期比4.7%増)、営業利益は27億42百万円(同133.0%増)と増収増益となりました。

また、当社の当該事業部門単体では、レンタル売上は対前年同期比5.8%増の214億40百万円、販売売上は同9.1%

増の60億45百万円、合計で274億85百万円、対前年同期比で6.5%増の結果となりました。

#### 当社単体の状況

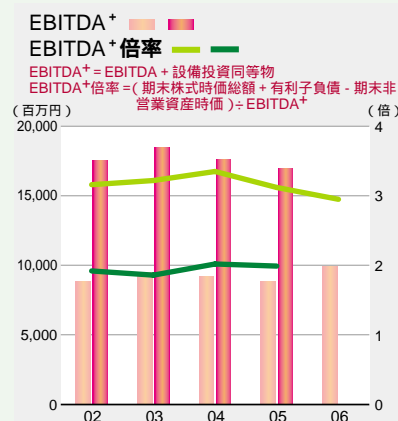
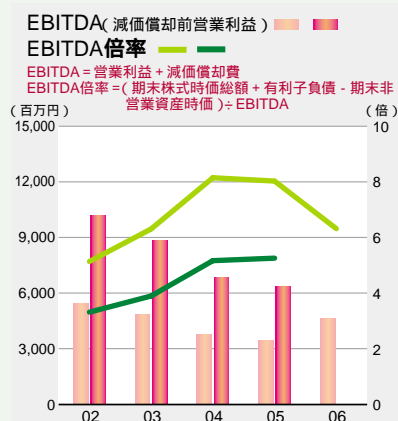
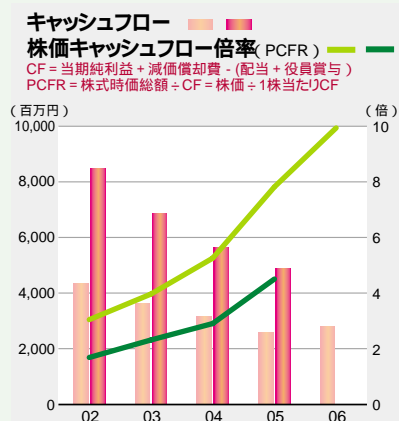
当社の建機レンタル売上を地域別に見ると、北海道地区・東北地区とも建設総投資額が大きく前年割れをしているなか、それぞれ民間建設や北海道新幹線プロジェクトなど各地で取りこぼしのないよう奮闘した結果、北海道地区は対前年同期と変わらない売上を確保、東北地区は同12.2%増と前期同様好調に推移しました。

また、関東信越地区は好調な首都圏に加え、新潟県の災害復旧工事や北関東での民間設備投資と各地各様の需要を取り込めたことから同7.9%増、近畿中部地区は株カンキとの相乗効果に加えて神戸・淡路島・福井の災害復旧工事のほか大阪の需要回復などから同5.5%増となりました。全国的に営業努力が実り、堅調な結果を得られました。なお、北海道、本州及びその他の、地域比率は31.4% : 68.6%でした。

当中間期における拠点の新設はありませんでした。第1四半期に金沢営業所を閉鎖いたしましたので、当社の営業拠点数は145となりました。

グラフで見る5年間(カナモト単体)

■ = 中間 ■ = 通期 ■ = 中間 ■ = 通期



## 連結子会社の状況

第一機械産業(株)は、鹿屋・垂水両地区での建機レンタルが好調に推移し、売上高は前年同期比5.8%増、営業利益は同66.7%増の増収増益となりました。

(株)エスアールジー・カナモトは札幌圏内の民間建築工事と新しく設備投資した橋梁工事向け足場が好調に推移し、売上高は対前年同期比15.1%増、営業損失も同92.6%減の大幅な改善をみました。

(株)アシストは、測量機器レンタル事業を当社アライアンスグループ企業に一本化したため当初目標よりも収益幅は小さくなったものの、売上高は対前年同期比4.0%増、営業利益も同39.1%増の増収増益となりました。

(株)カンキは、事業再構築に伴いレンタル売上は堅調に推移したものの商品販売が伸び悩んだため、売上高は対前年同期比17.7%減でした。なお、大幅増強したレンタル用資産のコスト負担があったものの営業利益は56百万円増と大幅に改善しました。

(株)カナテックは、受注・生産のタイムラグもあり売上高は対前年同期比13.7%減となりましたが、営業損失は97.6%減の改善を見ました。

なお、小誌前号で既報のとおり、地盤改良用建設機械の技術開発・製作・販売を行っているフローテック(株)を子会社

化いたしました。

## 鉄鋼関連事業

新商材(高耐久断熱防水屋根、KTルーフシステム)をはじめ取扱高も順調に推移しましたが、普通鋼材の市庫が過剰気味となり販売価格が急落したことから売上高は30億58百万円、対前年同期比で0.1%減、営業利益も同47.0%減の12百万円となりました。

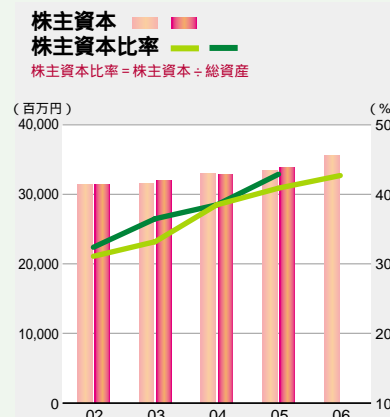
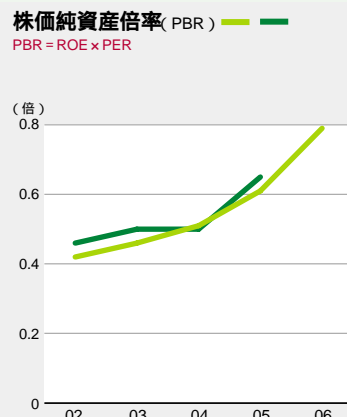
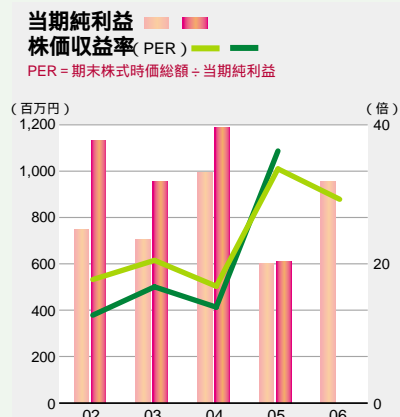
## 情報関連事業

情報機器事業部門は、首都圏でのパソコンレンタル需要が堅調だったものの、レンタル料金の低廉化もあって対前年同期比では2.2%減となりました。一方、商品販売は中古機販売が好調に推移し同45.0%増、部門全体では2億19百万円(同2.0%増)の増収、営業利益は21百万円(同100.6%増)でありました。

## 当該事業年度の連結経営成績の結果

	当該中間期	前中間期
売上高	34,520 (4.2)	33,126 (7.0)
営業利益	2,873 (122.5)	1,291 (18.2)
経常利益	2,801 (136.3)	1,185 (22.4)
中間純利益	1,048 (126.1)	463 (57.8)

単位:百万円 括弧内は対前年同期比増減(%)



## [ 経営方針 ]

### 目標とする経営指標、中長期的な経営戦略

当社は、毎期の設備投資負担が非常に大きく、かつ、数年に渡る期間損益を考慮しなければならない事業形態であることから、従前からキャッシュ・フロー同様、EBITDA<sup>+</sup>(減価償却前営業利益)の拡大を重要な指標のひとつに据えております。

進行中の長期経営計画(2003年11月～2008年10月)の数値目標については、前期末に保守的な修正を加えましたが、当中間期の業績結果を踏まえ、当期通期(2006年10月期)予想を上方修正しております。

		2006年10月期	2008年10月期
連結業績	売上高	66,050	68,390
	経常利益	3,420	3,890
	EPS	42.21円	68.34円
単体業績 (当社)	売上高	59,600	61,700
	経常利益	3,430	3,900
	EBITDA <sup>+</sup>	18,330	18,930

単位:百万円 EPSは1株当たり当期純利益(単位:円)

当社を取り巻く環境は引き続き厳しい状況が予想されるものの、現在、具現化してきている施策効果を推し進めることにより、一層の業績拡大とマーケットに評価される『強いカナモト』を目指し、以下に記した経営戦略の一つ一つ

を着実に実践してまいります。

#### (1)利益重視のレンタル用資産構成の継続

収益率の高い機種を優先的に増強していきます。また、既に最新型公害対策機をラインナップ済みであるため、これまでの入替えのために短期化していた運用期間を適正化して利益率向上に努めます。

#### (2)大胆なスクラップ&ビルドの実施

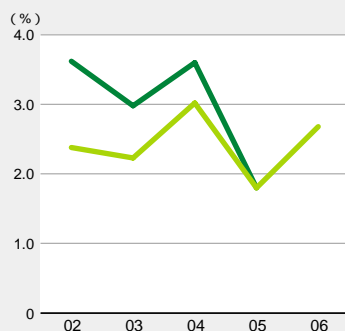
大都市圏、特に首都圏でのシェア獲得が当社の一層の業績拡大につながることから、地方は現状維持を基本として最小限の新設に止め、首都圏及び大都市圏周辺での早急な新設を実施してまいります。また、業績の伸長可能性、採算性をよく吟味して引き続き拠点閉鎖・統合を検討してまいります。

#### (3)顧客第一の強い営業体制の構築

ユーザーニーズを徹底的に検証した営業手法、現場に即したオンリーワン商品が徐々に浸透してきております。また、新カナモト総合補償制度や、災害発生時の緊急要請対応契約締結など、地域社会とのかかわりを一層強めてまいります。

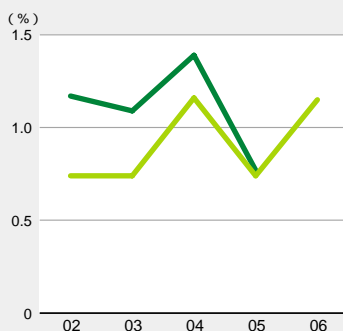
#### 株主資本利益率(ROE)

ROE = 当期純利益 ÷ 株主資本  
= 一株当たり当期純利益 (EPS) ÷ 一株当たり純資産 (BPS)



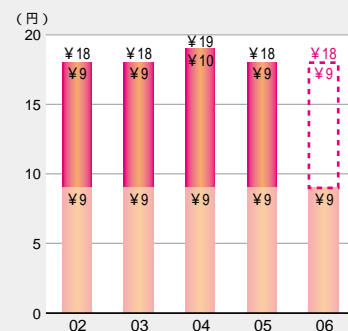
#### 総資産利益率(ROA)

ROA = 当期純利益 ÷ 総資産



#### 1株当たり配当

■ 実配当 ■ 期末予想



\*2004年10月の期末配当の10円のうち1円は設立40周年記念配当です。



#### (4)アライアンス戦略

北海道から沖縄まで各地に点在する当社グループ企業並びにアライアンス(提携)企業については、各種商材、情報の共有化を図りつつ、カナモトグループ各社間の企業連携を強化してシナジー効果を高めてまいります。

#### 通期の見通し

日本経済は、不良債権処理も進み業績回復をした主要金融機関を軸にして、海外需要に沸く機械、自動車産業など大手企業を中心に好業績を収めております。景気動向指数では大方の産業で復調の兆しが見られるなど、全国的に好景気の様相を呈しておりますが、唯一、業績回復から見放されているのは建設業界であります。地域間格差、企業規模格差と産業間格差、そして個人の生活水準格差とすべての面において格差が生じており、二極化が進んでおります。

#### 通期(2006年10月期)連結業績予想

	前回発表値	今回修正予想	増減額(率)	前期実績
売上高	63,210	66,050	2,840 (4.5)	63,975
営業利益	1,910	3,630	1,720 (90.1)	1,404
経常利益	1,680	3,420	1,740(103.6)	1,550
当期純利益	610	1,260	650(106.6)	352

単位:百万円 括弧内は対前年同期比増減(%)  
ご参考:1株当たり予想当期純利益(通期)42.21円

地方における建設業界を取り巻く環境は、地方財政の逼迫から厳しい状況が続いており、経営環境は大きく改善する見込みがないものと想定しております。

上述のとおり経済回復の地域間格差、そして産業間格差などの背景から、当社グループの経営環境も不透明な建設需要に左右され引き続き厳しさが予想されますものの、2006年5月25日付のプレスリリース『中間・通期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ』で既報のとおり、中間業績を踏まえ通期業績予想については上方修正いたしております。

収入面、利益面ともに予断を許しません。収益体質の改善がなされてきたこと、営業力も回復傾向にあることなど現在進行中の長期経営計画の諸施策が具現化しつつありますので、この基調を維持すべく収益確保に努めてまいります。

#### 通期(2006年10月期)個別業績予想

	前回発表値	今回修正予想	増減額(率)	前期実績
売上高	56,760	59,600	2,840 (5.0)	57,202
営業利益	1,650	3,330	1,680(101.8)	1,526
経常利益	1,730	3,430	1,700 (98.3)	1,960
当期純利益	700	1,310	610 (87.1)	609

単位:百万円 括弧内は対前年同期比増減(%)  
ご参考:1株当たり予想当期純利益(通期)43.89円

## 連結財務諸表

## 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)	第41期中間 (2005.4.30)		第41期末 (2005.10.31)		第42期中間 (2006.4.30)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
<b>資産の部</b>						
流動資産	<b>34,148</b>	39.9	<b>30,718</b>	37.5	<b>36,467</b>	41.9
現金及び預金	18,839		14,111		21,065	
受取手形及び売掛金	12,705		14,329		13,242	
たな卸資産	575		538		641	
建設機材	1,688		1,469		1,312	
繰延税金資産	371		318		316	
その他	648		873		494	
貸倒引当金	680		923		605	
固定資産	<b>51,361</b>	60.1	<b>51,258</b>	62.5	<b>50,535</b>	58.1
有形固定資産	44,553	52.1	43,538	53.1	42,382	48.7
レンタル用資産	10,452		9,811		9,260	
建物及び構築物	6,752		6,501		6,291	
機械装置及び運搬具	848		792		740	
土地	26,062		26,140		25,791	
建設仮勘定	95		-		24	
その他	342		292		273	
無形固定資産	782	0.9	688	0.8	610	0.7
投資その他の資産	6,025	7.1	7,031	8.6	7,542	8.7
投資有価証券	4,318		5,753		6,601	
繰延税金資産	749		302		-	
その他	2,146		1,754		1,778	
貸倒引当金	1,189		778		837	
<b>資産合計</b>	<b>85,510</b>	100.0	<b>81,977</b>	100.0	<b>87,003</b>	100.0

(単位:百万円)	第41期中間 (2005.4.30)		第41期末 (2005.10.31)		第42期中間 (2006.4.30)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
<b>負債の部</b>						
流動負債	<b>29,373</b>	34.4	<b>26,137</b>	31.9	<b>30,083</b>	34.6
支払手形及び買掛金	13,039		10,837		13,441	
短期借入金	655		577		558	
1年以内返済予定の長期借入金	10,497		10,718		10,570	
未払法人税等	708		555		1,158	
賞与引当金	532		515		566	
役員賞与引当金	-		-		2	
未払金	3,327		2,464		2,617	
その他	610		467		1,167	
固定負債	<b>22,957</b>	26.8	<b>22,303</b>	27.2	<b>21,546</b>	24.8
長期借入金	19,185		18,643		17,545	
退職給付引当金	1,341		1,525		1,592	
役員退職慰労引当金	120		110		138	
長期未払金	2,237		1,968		1,871	
繰延税金負債	-		-		364	
その他	72		55		33	
<b>負債合計</b>	<b>52,330</b>	61.2	<b>48,440</b>	59.1	<b>51,629</b>	59.4
<b>少数株主持分</b>						
少数株主持分	<b>89</b>	0.1	<b>71</b>	0.1	<b>111</b>	0.1
<b>資本の部</b>						
資本金	<b>8,596</b>	10.0	<b>8,596</b>	10.5	<b>8,596</b>	9.9
資本剰余金	<b>9,720</b>	11.4	<b>9,720</b>	11.8	<b>9,720</b>	11.2
利益剰余金	<b>14,071</b>	16.5	<b>13,691</b>	16.7	<b>14,464</b>	16.6
<sub>1</sub> 其他有価証券評価差額金	<b>886</b>	1.0	<b>1,643</b>	2.0	<b>2,672</b>	3.0
自己株式	<b>184</b>	0.2	<b>186</b>	0.2	<b>191</b>	0.2
<b>資本合計</b>	<b>33,090</b>	38.7	<b>33,465</b>	40.8	<b>35,262</b>	40.5
<b>負債・少数株主持分及び資本合計</b>	<b>85,510</b>	100.0	<b>81,977</b>	100.0	<b>87,003</b>	100.0

## 中間連結損益計算書

(単位:百万円)	第41期中間 (2004.11.1 - 2005.4.30)		第41期末 (2004.11.1 - 2005.10.31)		第42期中間 (2005.11.1 - 2006.4.30)	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)
売上高	33,126	100.0	63,975	100.0	34,520	100.0
レンタル売上高	22,504		42,985		24,004	
商品売上高	10,621		20,989		10,516	
売上原価	24,896	75.2	48,735	76.2	24,591	71.2
レンタル売上原価	16,332		31,949		16,446	
商品売上原価	8,564		16,785		8,144	
売上総利益	8,229	24.8	15,240	23.8	9,928	28.8
販売費及び一般管理費	6,938	20.9	13,835	21.6	7,055	20.5
営業利益	1,291	3.9	1,404	2.2	2,873	8.3
営業外収益	182	0.6	716	1.1	172	0.5
受取利息	2		3		0	
受取配当金	26		57		10	
その他	152		655		162	
営業外費用	288	0.9	570	0.9	244	0.7
支払利息	180		353		168	
その他	108		217		76	
経常利益	1,185	3.6	1,550	2.4	2,801	8.1
特別利益	114	0.3	121	0.2	16	0.1
特別損失	257	0.8	545	0.8	638	1.9
税金等調整前中期(当期)純利益	1,041	3.1	1,125	1.8	2,179	6.3
法人税、住民税及び事業税	634	1.9	858	1.3	1,121	3.3
法人税等調整額	86	0.3	97	0.1	31	0.1
少数株主利益	30	0.1	11	0.0	40	0.1
中間(当期)純利益	463	1.4	352	0.6	1,048	3.0

現在進行中の長期経営計画の諸施策により、レンタル用資産の運用効率の向上などその施策効果が具現化してきていることから、増益結果となりました。

## 中間連結剰余金計算書

(単位:百万円)	第41期中間 (2004.11.1 - 2005.4.30)	第41期末 (2004.11.1 - 2005.10.31)	第42期中間 (2005.11.1 - 2006.4.30)
	金額	金額	金額
資本剰余金の部			
資本剰余金期首残高	9,720	9,720	9,720
資本剰余金中間期末(期末)残高	9,720	9,720	9,720
利益剰余金の部			
利益剰余金期首残高	13,913	13,913	13,691
利益剰余金増加額	463	352	1,048
中間(当期)純利益	463	352	1,048
利益剰余金減少高	305	574	275
配当金	298	567	268
役員賞与金	7	7	7
利益剰余金中間期末(期末)残高	14,071	13,691	14,464

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	第41期中間 (2004.11.1 - 2005.4.30)	第41期末 (2004.11.1 - 2005.10.31)	第42期中間 (2005.11.1 - 2006.4.30)
	金額	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,739	10,219	9,183
投資活動によるキャッシュ・フロー	78	11	501
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,563	7,833	2,731
現金及び現金同等物の増減額	7,096	2,374	6,953
現金及び現金同等物の期首残高	11,734	11,734	14,108
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	18,831	14,108	21,062

当社では、2006年10月期から「固定資産の減損に係る会計基準」を適用しております。当中間期までに、当社所有の一部である有形固定資産(土地 計5件)について、既報の第1四半期に計上した344百万円と合わせ、合計594百万円を特別損失に計上しております。

# 個別財務諸表

## 中間個別貸借対照表

(単位:百万円)	第41期中間 (2005.4.30)		第41期末 (2005.10.31)		第42期中間 (2006.4.30)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
<b>資産の部</b>						
流動資産	<b>31,274</b>	38.3	<b>28,665</b>	36.3	<b>33,474</b>	40.2
現金及び預金	17,732		13,230		20,185	
受取手形	2,317		2,583		2,339	
売掛金	8,687		10,665		9,328	
たな卸資産	346		311		343	
その他	2,764		2,874		1,811	
貸倒引当金	573		1,001		534	
固定資産	<b>50,381</b>	61.7	<b>50,372</b>	63.7	<b>49,884</b>	59.8
有形固定資産	43,499		42,622		41,464	
レンタル用資産	9,980		9,453		8,891	
建物	5,542		5,344		5,200	
土地	25,788		25,869		25,520	
その他	2,187		1,954		1,852	
無形固定資産	208		187		165	
投資その他の資産	6,673		7,562		8,253	
投資有価証券	4,196		5,684		6,487	
その他	3,363		2,679		2,773	
貸倒引当金	606		321		526	
投資損失引当金	280		480		480	
<b>資産合計</b>	<b>81,655</b>	100.0	<b>79,037</b>	100.0	<b>83,358</b>	100.0

(単位:百万円)	第41期中間 (2005.4.30)		第41期末 (2005.10.31)		第42期中間 (2006.4.30)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
<b>負債の部</b>						
流動負債	<b>26,664</b>	32.7	<b>24,082</b>	30.5	<b>27,663</b>	33.2
支払手形	9,313		7,214		9,573	
買掛金	1,930		2,425		2,314	
短期借入金	10,324		10,555		10,415	
未払金	3,249		2,389		2,495	
未払法人税等	646		530		1,068	
賞与引当金	466		448		489	
役員賞与引当金	-		-		2	
設備関係支払手形	231		133		265	
その他	502		385		1,038	
固定負債	<b>21,574</b>	26.4	<b>21,052</b>	26.6	<b>20,089</b>	24.1
長期借入金	18,040		17,590		16,555	
長期未払金	2,125		1,876		1,744	
繰延税金負債	-		-		118	
退職給付引当金	1,315		1,506		1,567	
役員退職慰労引当金	93		79		103	
<b>負債合計</b>	<b>48,239</b>	59.1	<b>45,134</b>	57.1	<b>47,752</b>	57.3
<b>資本の部</b>						
資本金	<b>8,596</b>	10.5	<b>8,596</b>	10.9	<b>8,596</b>	10.3
資本剰余金	<b>9,720</b>	11.9	<b>9,720</b>	12.3	<b>9,720</b>	11.6
資本準備金	9,720		9,720		9,720	
利益剰余金	<b>14,396</b>	17.6	<b>14,135</b>	17.9	<b>14,814</b>	17.8
利益準備金	1,375		1,375		1,375	
任意積立金	11,831		11,831		11,851	
中間(当期)未処分利益	1,189		928		1,587	
その他有価証券評価差額金	<b>886</b>	1.1	<b>1,637</b>	2.0	<b>2,666</b>	3.2
自己株式	<b>184</b>	0.2	<b>186</b>	0.2	<b>191</b>	0.2
<b>資本合計</b>	<b>33,416</b>	40.9	<b>33,903</b>	42.9	<b>35,605</b>	42.7
<b>負債資本合計</b>	<b>81,655</b>	100.0	<b>79,037</b>	100.0	<b>83,358</b>	100.0



## 中間個別損益計算書

(単位:百万円)	第41期中間 (2004.11.1~2005.4.30)		第41期末 (2004.11.1~2005.10.31)		第42期中間 (2005.11.1~2006.4.30)	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)
売上高	<b>29,080</b>	100.0	<b>57,202</b>	100.0	<b>30,764</b>	100.0
売上原価	21,963	75.5	43,789	76.5	22,230	72.3
売上総利益	<b>7,116</b>	24.5	<b>13,413</b>	23.5	<b>8,533</b>	27.7
販売費及び一般管理費	5,946	20.5	11,886	20.8	6,037	19.6
営業利益	<b>1,169</b>	4.0	<b>1,526</b>	2.7	<b>2,496</b>	8.1
営業外収益	283	1.0	923	1.6	296	1.0
営業外費用	227	0.8	489	0.9	223	0.7
経常利益	<b>1,225</b>	4.2	<b>1,960</b>	3.4	<b>2,569</b>	8.4
特別利益	107	0.4	69	0.1	4	0.0
特別損失	246	0.9	837	1.4	621	2.0
税引前中間(当期)純利益	<b>1,086</b>	3.7	<b>1,192</b>	2.1	<b>1,951</b>	6.4
法人税、住民税及び事業税	571	2.0	833	1.4	1,032	3.4
法人税等調整額	87	0.3	249	0.4	35	0.1
中間(当期)純利益	<b>602</b>	2.0	<b>609</b>	1.1	<b>955</b>	3.1
前期繰越利益	587		587		632	
中間配当額	-		268		-	
中間(当期)未処分利益	<b>1,189</b>		<b>928</b>		<b>1,587</b>	

## とってもいいモノ・読者プレゼント

小誌P.4でご紹介した取扱商品のメーカーのノベルティグッズが当たるプレゼントコーナーです。アンケートハガキに回答のうえご返送いただいた方の中から、下記グッズのいずれかを抽選で差し上げます。

新明和工業株式会社様(<http://www.Shinmaywa.co.jp>)からご提供いただいた、大手コンビニエンスストア等使える便利なプリペイドカード「QUOカード」500円分2枚と、かわいらしいミニチュア特装車の携帯ストラップのセットを10名様に。

また、トヨタ車体株式会社様(<http://www.toyota-body.co.jp/>)には、テレビCMでおなじみ、未来のコンセプトカー「i-unit」のイラストが涼しげなペアグラスセットをご提供いただき、こちらも10名様にプレゼントいたします。

なお、ご応募の締め切りは8月5日(当日消印有効)です。当選者の発表は、商品の発送をもって替えさせていただきます。



商品のご指定はできません。あらかじめご了承ください。

## 株主様からのご質問に答える

## Q &amp; A コーナー

いつもアンケートハガキをご返送くださりまして、ありがとうございます。皆様から寄せられたご意見・ご感想はすべて拝見しておりますが、誌面の都合等からご質問と回答をなかなか掲載できないままになっておりました。そこで今回のQ&Aコーナーでは、皆様から頂戴したご意見・ご質問を一気に掲載させていただき、少々面映いのですが広報から返答申し上げます。

北海道らしい美しい写真や名勝の紹介記事を掲載していただけませんか？(静岡県 / 60代 / 女性)

四季折々の景色を愛する度に、日本は美しい国だと感じます。北海道はもとより、当社が拠点を展開している各地の写真に掲載した誌面作りも考えてまいります。

株式投資は経営者を見て判断するもの。そこで社長インタビューなどを企画して欲しい。(神奈川県 / 60代 / 男性)

小誌事業報告書号には毎年、社長挨拶を掲載しておりますものの、対談の記事はしばらく掲載していませんでした。タイムリーな内容の対談となるとなかなかチャンスがありませんが、ご期待に添うよう企画していきたいと思っております。

家庭用「災害緊急ツールBOX役にたつおくん」があると良いと思います。(神奈川県 / 50代 / 男性 他)

ご家庭向けの製品とは、いや、気が付きませんでした。早速、製品開発を担当するニュープロダクツ室にご意見を伝えさせていただきました。今後ご意見を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

株主総会に気軽に参加したいのですが、なんだか気おくれしてしまいます。(北海道 / 40代 / 女性)

当社の株主総会はいたってオーソドックスで、決して堅苦しい雰囲気ではございません。また、総会前には皆様にご理解を深めていただけるよう、簡単な事業説明も実施しております。是非、ご臨席ください。役職員一同、心よりお待ち申し上げます。

昨年12月の第8回ノムラ資産管理フェアにて貴社ブースに好印象。一時株を保有していました。余裕が出来れば再度と考えています。(神奈川県 / 50代 / 男性)

弊社ブースにもお立ち寄りいただき、誠にありがとうございます。目を引くような特別なことはできませんが、これからも投資家の皆様にご納得いただけるIR活動を続けてまいります。

皆様から頂戴する叱咤激励に感涙しつつ、少しでもカナモトをお伝えできるようペンを走らせる毎日です。皆様からいただくご意見が、我々広報の糧であります。これからもよろしくお願いいたします。

## 株価チャート(週足)



## 株価および売買高(東証分のみ。単位:円、出来高は千株)

	始値	高値	安値	終値	出来高
2005年 6月	680	700	654	686	789
7月	687	695	668	682	426
8月	683	695	670	680	638
9月	681	720	656	713	872
10月	719	749	710	730	1,593
11月	733	763	692	706	1,496
12月	704	780	703	776	2,108
2006年 1月	778	880	743	841	1,582
2月	841	845	700	741	707
3月	748	869	740	861	1,020
4月	856	925	856	925	1,693
5月	924	1,002	905	977	2,168

## 役員一覧(2006年5月31日現在)

### 取締役

代表取締役社長	金本 寛中 *	取締役相談役	鷲田 秀光
取締役執行役員・経理部長 情報システム部管掌・債権管理部債権管理課管掌	卯辰 伸人 *	取締役 [(株)カンキ代表取締役社長]	佐藤 幸夫
取締役執行役員・内部統制プロジェクトチーム委員長 総務部管掌・債権管理部審査課管掌	金本 栄中 *	取締役執行役員・営業統括本部長 レンタル事業部長・近畿中部地区担当部長	金本 哲男 *
取締役執行役員 経営企画部長・秘書室長	成田 仁志 *	取締役執行役員・レンタル事業部副事業部長 特販事業部長・品質保証室長・関連企業室長	平田 政一 *
取締役執行役員 事業開発部長・情報機器事業部長	北方 敬一 *	取締役	川村 雄一
取締役	川島 治		

### 監査役

常勤監査役	奥村 敏三	常勤監査役	澤田 紳六
監査役	橋本 昭夫	監査役	辻 清宏

### 執行役員

情報システム部長	熊谷 浩	レンタル事業部北海道地区担当部長	金本 龍男
債権管理部長 監査室長・法務室長	麻野 裕一	レンタル事業部東北地区担当部長	長崎 学
総務部長	磯野 浩之		

(注1)\*印の取締役は、執行役員を兼任しております。(注2)川村雄一氏及び川島治氏は、商法第188条第2項第7号12に定める社外取締役であります。  
(注3)橋本昭夫氏及び辻清宏氏は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

## 編集後記

中間業績が好感されてか、当社株価は逆行高を繰り返し、6月30日現在、4桁台を維持して年初来の高値をつけております。出来高も東証1部らしくなってきました。これで株主の皆様喜んでいただくと、広報担当者としては頬が緩む毎日です。

さて、小誌ニュースヘッドラインでもご紹介させていただいておりますとおり、7月はCONET2006に日経IRフェア、そしてJAIの会員大会とイベントが目白押しで、その準備に息つく暇もない日々を過ごしています。こうして忙しくしていただけるのも、株主の皆様のお陰。感謝、感謝、感謝、であります。CONET2006などといったイベントへの出展は今回が初めてで、レンタル事業部門でも力が入っておりまして、当日は統一感を出そうとお揃いの服装でお客様をお迎えする計画です。男性陣はネクタイは失礼して白いボタンダウンシャツにページェのチノパンツというクールビズ・スタイル、女性陣は普段、当社メンテナンススタッフが着用しているライトグレーのオーバーオール姿。オーバーオールといえば無骨な作業服姿なのですが、女性が着ると何故かかわいらしく見えるんです。不思議です。そして、忘れてならないのが笑顔と知識。こちららもぼっち揃えています。

幕張メッセで、東京ビッグサイトで、そして虎ノ門パストラルで、皆様にお会いできれば幸いです。

ところで、決勝リーグ進出を期待されたサッカーW杯のサムライ・ニッポンは、敵陣のゴール目前まで行きながら、積極的な攻撃を展開できぬまま残念な結果となりました。譲り合うのもチームワークですが、責任を持って自身の役割を果たすのもまた、チームのためと思うのですが、W杯というのは歴戦の選手たちをも萎縮させる強大な畏怖の塊なのでしょう。今回を糧に4年後を期待しましょう。当社も同じ轍を踏まないよう、皆様のエールを一身に受けてガンガンと攻めて行きたいと思っております。☺

## 株主の皆様へ 株券の電子化についてのお知らせ

株券の取引等がより安全かつ迅速に行われることを目的として、2004年6月に「株券の電子化」に関する法律が公布されました。これにより、上場会社の株券は2009年6月までに電子化されます(具体的な実施日は政令で決定されます)。「株券の電子化」の詳細につきましては、日本証券業協会 証券決済制度改革推進センターまでお問い合わせください。

お問い合わせ先

証券受渡・決済制度改革懇談会事務局 TEL. 03-3667-4500 ホームページ <http://www.kessaicenter.com/>



株式会社 **カナモト**

(東証一部・札幌 証券コード: 9678)

〒060-0041 札幌市中央区大通東3丁目1番地19

Tel : (011)209-1600(大代表)

<http://www.kanamoto.co.jp>

### 会社概要(2006年5月31日現在)

商号	株式会社カナモト (英文 Kanamoto co.,ltd.)
設立	1964年10月28日
資本金	85億9,673万円(払込済資本金)
上場取引所	東京証券取引所市場第一部 札幌証券取引所
営業拠点	147カ所(カナモト個別)
本社	札幌市中央区大通東3丁目1番地19
発行株数	30,253千株(発行済株式総数)
決算期	毎年10月31日(年1回)
証券コード	9678
従業員数	1,179名(役員・嘱託・臨時雇員を除く)

### 株主メモ

決算日	毎年10月31日(年1回)
株主総会	毎年1月中
同総会議決権行使株主確定日	毎年10月31日
利益配当金受領株主確定日	毎年10月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年4月30日
公告の掲載 名義書換代理人	当社ホームページ、日本経済新聞* 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 (〒100-8212) 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 (〒100-8212) 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
郵便物送付先 および電話照会先	東京都豊島区西池袋1丁目7番7号 (〒171-8508) 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 電話 0120-707-696(フリーダイヤル)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店

\* 当社公告の掲載につきましては、当社ホームページ(<http://www.kanamoto.co.jp>) または <http://www.kanamoto.ne.jp> ) に掲載いたします。  
なお、やむを得ない事由により、ホームページに公告を掲載することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。